

会議報告書

会議名	令和8年度 第2回三郷市介護保険運営協議会
日 時	令和8年7月30日(木) 午後1時30分から午後2時 15 分
場 所	三郷市健康福祉会館 501・502会議室
出席者 (19 名)	【会 長】 谷口 聡 【委 員】 渡部 みどり、晝間 章、佐久間 史晃、秋葉 明、齋藤 義治、 小川 孔美 6名 【事務局】 原山 千恵(いきいき健康部長) 長濱 崇二(いきいき健康部副部長) 篠田 由美(介護保険課長) 川原 健(介護保険課長補佐) 溝口 明日香(介護保険課介護給付係長) 流 智子(介護保険課介護認定係長) 小平 あかね(介護保険課介護給付係主査) 斉藤 嗣幸(長寿いきがい課長) 岡田 美奈子(長寿いきがい課副参事 兼課長補佐兼地域包括係長) 小暮 光直(長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長) 齋藤 麻奈美(長寿いきがい課長寿生きがい係) 土屋 勇貴(長寿いきがい課長寿生きがい係) 12 名
次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 部長あいさつ 4 議題及び報告 (1) 令和7年度介護保険特別会計決算について (2) 令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)(案)について

	(3) 介護人材実態調査結果について (4) 給付実績、地域分析について (5) その他 5 事務連絡 6 閉会
資 料	資料 1－1 介護特会決算見込概要 資料 1－2 令和 7 年度事業計画事業実績 資料 1－3 介護特会 令和 8 年 9 月補正概要 資料 2 三郷市_介護人材実態調査_集計結果報告書 資料 3－1 ①要介護認定データを用いた地域分析の抜粋 資料 3－2 ②見える化システムを用いた地域分析 参考資料 市内事業所分布、利用定員一覧

【会議要旨】

1 開会	
司会者（篠田課長）が開会を宣言	
2 会長あいさつ	
谷口会長よりあいさつ	
3 部長あいさつ	
原山部長よりあいさつ	
4 議事	
谷口会長	議題（１）「令和 7 年度介護保険特別会計決算」について、事前に資料を配付しているため、事務局からの説明は省略します。ご意見やご質問があれば、お願いいたします。
齋藤委員	資料 1－2 の介護保険料滞納分の収入済額の推移を見ると、令和 5 年度が 8.5%、令和 6 年度が 9.4%、令和 7 年度が 9.1%と、改善傾向にあると理解しています。職員の皆さんのご尽力によるものと思いますが、具体的にどのような工夫をされたのでしょうか。
事務局	地道なところではありますが、督促状を送付して支払いを促しています。それに加えて、納付呼びかけセンターを活用し、電話連絡を通じて納付のお願いをいたしました。

谷口会長	ご意見やご質問がなければ、質疑を終了いたします。 (意見・質問なし) こちらの事項について、ご異議はありませんか。 (異議なし) 議題(2)「令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)(案)」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料1-3】に基づき説明。
谷口会長	事務局の説明が終わりました。ご意見やご質問がなければ、質疑を終了いたします。 (意見・質問なし) 事務局からの説明事項について、ご異議はありませんか。 (異議なし) 議題(3)「介護人材実態調査結果」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料2】に基づき説明。
谷口会長	ご意見、ご質問があればお願いいたします。
佐久間委員	まず、級地に関するご尽力に対し感謝申し上げます。 6ページの「4. 合同説明会について」ですが、どの程度の効果を見込んでいらっしゃるのでしょうか。
事務局	具体的な効果についてはまだ精査できておりませんが、今回のアンケート調査の結果では、仕事に関する内容や、集団説明会を設けてほしいというご意見をいただいておりますので、そうしたご要望に対応することが必要と考えております。実際にどの程度の規模で行うのかなどは、今後検討してまいります。
佐久間委員	三郷市内の介護事業者が合同説明会に参加し、就職につなげるというのは、費用対効果が高くないと考えております。今後、2035年に向けて介護人材や介護事業者が不足してくると、事業者間の横の連携が強くなっていくと考えられます。そうした連携の中に、就職や斡旋をコンテンツとして組み込むことで、より費用対効果が高まるのではないかと考えております。
秋葉委員	4ページの「6. 介護職員の年齢」についてですが、当事業所でも40代未満は1名のみとなり、ケアマネジャーの高齢化が問題となっています。今回、報酬が上がれば給料も上がることを期待しているのですが、ケアマネジャーの事業形態は多様化されており、ケアマネジャーの人数を増やすことは難しいと考えます。今後、就職支援として、ケアマネジャーの合同説明会のようなものは検討されていないのでしょうか。

事務局	どのようなかたちが効果的か、いただいたご意見のように一緒に考えながら、開催に向けて検討していければと考えております。
齋藤委員	介護職の魅力発信を含めた合同就職説明会ということで、非常に良い着眼点だと思いますが、費用対効果を高めるためには、現場で働く方の意見や思いを初心者の方に伝えられるよう、各事業所との綿密な連携は不可欠です。ぜひ事業所との連携を深めて実施していただきたいと思います。 また、級地については、これまでも九都県市で働きかけを行ってきたと思いますが、実施に至っていないとなると、別の観点から検討していく必要があるのではないのでしょうか。ただ、級地を上げれば利用者負担も増えるというジレンマがありますので、綿密な議論が必要だと思います。事業所にとっては非常に重要な問題ですので、早期解決できるよう、よろしく願いいたします。
谷口会長	介護事業所の給与面においては、埼玉県内のみの比較にとどまらず、東京都に対する競争力を意識しなければ人材の流出を招いてしまいます。引き続き、人材をしっかり引き止め定着させる工夫や施策を検討いただきたいと思います。 他にご意見やご質問がなければ、質疑を終了いたします。 (意見・質問なし) 議題(4)「給付実績、地域分析」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料3-1、3-2、参考資料】に基づき説明。
谷口会長	事務局の説明が終わりました。ご意見、ご質問があればお願いいたします。
佐久間委員	資料3-1の1ページ、「新規認定者の認知症自立度」についてですが、第3圏域が46.2%と、他の圏域と比べ突出している理由を教えてください。
事務局	特段、理由については把握しておらず、今回は抽出した数字をそのまま掲載したものとっております。
佐久間委員	デイサービスを運営している中で、ご夫婦で要介護1の方をお預かりするケースがあります。ご主人が急に亡くなられ、その翌日から奥様が区分変更となり要介護4になることがあり、お一人で生活することが困難になるなど、家族構成や家庭環境が介護度に大きく影響していると感じています。要介護3から5の方は単身世帯の割合が高く、介護事業者からすれば、ケアの工数が多い利用者になると思います。参考資料を見ると、第3圏域はサービス事業者が少ない一方で、みさと団地など単身世帯が多い地域であり、特に地域包括支援センターの業務負担が大きいのではないかと思います。こういったところに対するケアや支援について、何かお考えはありますでしょうか。
事務局	資料を作成する中で、第3圏域はサービス量が少ないことを改めて認識しました。ただ、事業所を立ち上げるには、団地の特性など様々な兼ね合いがあると感じております。高齢化率が上がっていく中で、何らかの手立てが必要だと考えています。

佐久間委員	事業者を増やすことは難しいと思いますが、地域包括支援センターに対しては、その状況を理解しているという心のケアや、人的増員などの配慮が必要ではないかと考えています。これから三郷市では人口が微減で推移しますが、圏域によっては差異があると思います。特に第3圏域では人口の変動が大きく、彦糸小学校では児童の半数が外国籍といった実情も踏まえると、6か所の地域包括支援センターが努力するだけでは難しいのではないかと感じています。引き続き、より細やかな配慮ができる運営協議会、そして三郷市でありたいと思っております。
事務局	ご意見ありがとうございます。高齢者数や高齢化率、介護度の状況が圏域によって異なることは十分認識しております。地域包括支援センターには委託料をお支払いしていますが、高齢者数に応じて専門職や事務職を増員できるよう加算を付けるなどの対応をしております。また、地域包括係として、地域包括支援センターへの支援体制をさらに強化する必要があると考えておりますので、今後、十分な検討を進めてまいりたいと考えております。
谷口会長	他にご意見やご質問がなければ、質疑を終了いたします。 (意見・質問なし) 次に、議題(5)「その他」について、事務局から報告をお願いします。
事務局	【当日配布資料】に基づき報告。
谷口会長	事務局の報告が終わりました。ご意見やご質問があれば、お願いいたします。
秋葉委員	今まで市内の総合事業は三郷市の方のみが対象でしたが、例えば市外の方も三郷市内のデイサービスに登録すれば利用できるということでしょうか。
事務局	その逆で、三郷市に住民登録のある方が、市外の事業所を利用できるようになるということです。
谷口会長	他にご意見やご質問はありますか。 (意見・質問なし) 無いようですので、本日の議事は終了いたします。
5 事務連絡	
	事務局から次回の協議会等について連絡。
6 閉会	